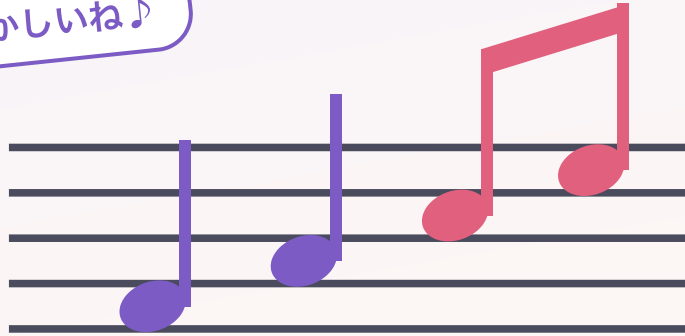


なつかしいね♪



みんなで歌おう！

童謡・唱歌を歌う

日本に伝わる歌の宝ものにふれよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

童謡・唱歌ってなに	3～5
季節の歌をたのしむ	6～7
いろいろな童謡	8～10
歌詞を味わう	11～13
歌をつなぐ	14～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

童謡と唱歌のちがい

似ているようで、少しちがう2つの言葉を知ろう。

童謡（どうよう）

children's song

子どものために作られた歌

唱歌（しょうか）

school song

学校の教育のために作られた歌

童謡は、子どもの心に寄りそうように作られた歌です。唱歌は、明治時代以降、学校の授業で歌うために作られた歌です。

どちらも古くから日本で歌いつがれ、今でも多くの人に親しまれています。



ポイント

- どちらも、長い年月を経て今も歌われ続けている歌です。
- 作られた目的はちがっても、どちらも大切な日本の歌の文化です。

やってみよう

1. 知っている童謡や唱歌を、思いつくだけ書いてみよう。

書いて覚えよう

- 童謡・唱歌の多くは、100年近く歌いつがれているものもあります。
- 時代が変わっても、メロディや歌詞の良さが変わらず愛されています。
- 新しい音楽とはちがう、落ち着いた美しさがあります。

1. 家族に、子どものころ歌っていた童謡・唱歌を聞いてみよう。

日本には、季節を感じる歌がたくさんあります。

- 日本の童謡・唱歌には、四季の景色や行事をうたった歌が多くあります。
- 季節に合わせて歌うと、歌詞の情景がより身近に感じられます。
- 季節の変化とともに、いろいろな歌を楽しむことができます。

1. 今の季節に合う歌を、知っていれば1つ書こう。

春と夏、それぞれの景色を歌にのせよう。

春のさくらの景色をうたう古い歌

春から夏にかけての虫をうたう歌

夏の海をうたう歌

初夏の茶畑の風景をうたう歌

- 春の歌には、桜や新しい季節の始まりをうたうものが多くあります。
- 夏の歌には、海や虫、涼さを感じさせるものが多くあります。

1. 上の歌の中で知っているものがあれば、□ずさんでみよう。

秋の歌・冬の歌

秋と冬、それぞれの景色を歌にのせよう。

もみじ

秋の紅葉をうたう歌

虫のこえ

秋の夜に鳴く虫をうたう歌

雪

冬の雪の景色をうたう歌

たき火

冬の焚き火のあたたかさをうたう歌

ポイント

- 秋の歌には、紅葉や虫の声など、しずかな美しさをうたうものが多いです。
- 冬の歌には、雪や寒さの中のあたたかさをうたうものが多いです。

やってみよう

1. 上の歌の中で知っているものがあれば、□ずさんでみよう。

書いて覚えよう

- 「故郷（ふるさと）」のように、生まれ育った土地への思いをうたった歌があります。
- 遠くはなれた場所からでも、歌を通してふるさとを思い出すことができます。
- 大人になってからも心に残り、長く歌いつがれています。

1. あなたにとっての「ふるさと」を、ひとことで書こう。

動物をうたった、親しみやすい歌もあります。

でんでんむしをうたう歌

うさぎをうたう歌

ぞうの親子をうたう歌

- 動物の歌は、小さな子どもにも親しみやすいメロディが多いです。
- 動物の動きや鳴き声をイメージしながら歌うと、より楽しめます。

1. 上の歌の中で知っているものがあれば、動物の動きをまねしながら歌ってみよう。

遊び歌

遊びながら歌う、昔ながらの歌があります。

ポイント

- 「通りゃんせ」のように、遊びの中で歌われてきた歌があります。
- 手遊びやわらべうたなど、体を動かしながら楽しむ歌も多くあります。
- 遊び歌は、地域によって少しずつメロディや歌詞がちがうこともあります。

やってみよう

1. 知っている遊び歌があれば、家族や友だちと遊びながら歌ってみよう。

書いて覚えよう

- 童謡・唱歌には、今はあまり使われない言葉が出てくることがあります。
- 意味を調べてみると、当時の暮らしや景色が見えてきます。
- わからない言葉があっても、まずはメロディを楽しむことから始めて構いません。

1. 知っている童謡・唱歌の歌詞で、意味が気になる言葉があれば書こう。



「もみじ」の歌詞を歌うと、赤や黄色の山が目にかぶるよ。



本当だ。行ったことがない景色でも、想像できるね。

- 歌詞に出てくる景色を思いうかべると、歌により深みが生れます。
- 実際に見たことがない景色でも、想像することで歌に近づけます。

1. 好きな童謡・唱歌の歌詞から思いうかべた景色を、簡単に書こう。

- 童謡・唱歌の多くは、力強さよりもやさしさが似合う曲です。
- 肩の力を抜いて、語りかけるように歌うと、雰囲気合いやすくなります。
- 大きな声を出さなくても、心を込めて歌うことができます。

1. 知っている童謡・唱歌を1つ、やさしい声で歌ってみよう。

世代を超えて、いっしょに歌ってみよう。

ポイント

- 童謡・唱歌は、親や祖父母の世代も知っていることが多い歌です。
- いっしょに歌うことで、会話のきっかけにもなります。
- 同じ歌でも、世代によって思い出がちがうこともあります。

やってみよう

1. 家族と1曲、いっしょに歌ってみよう。感想を書こう。

書いて覚えよう

歌の背景を調べる

歌が生まれた背景を知ると、味わいが深まります。

ポイント

- いつごろ作られたか、どんな思いで作られたかを調べると、理解が深まります。
- 同じ歌でも、背景を知る前と後で、聞こえ方が変わることがあります。
- 確かな情報をもとに調べることが大切です。

やってみよう

1. 好きな童謡・唱歌が、いつごろの歌か調べてみよう。

書いて覚えよう

世代をこえて歌う

昔も今も、歌い続けられている理由を考えよう。

ポイント

- 長く歌いつがれる歌には、時代を超えて愛される理由があります。
- シンプルで覚えやすいメロディも、歌いつがれる理由の1つです。
- これからも歌いつなぐ役目は、今の世代にもあります。

やってみよう

1. あなたが次の世代に伝えたい童謡・唱歌を1つえらぼう。

書いて覚えよう

- 民謡やわらべうたの中には、特定の地域で歌いつがれてきたものがあります。
- 同じ題材でも、地域によってメロディや歌詞がちがうことがあります。
- 地域の歌は、その土地の暮らしや文化を伝えてくれます。

1. 自分の住む地域に伝わる歌を知っていれば、書こう。

たくさんの歌の中から、お気に入りを見つけよう。

たくさんの歌の中から、お気に入りを見つけよう。

ポイント

- 童謡・唱歌にはたくさんの種類があり、好みは人それぞれです。
- メロディの美しさ、歌詞の意味、思い出など、好きな理由もさまざまです。

やってみよう

1. あなたの好きな童謡・唱歌と、好きな理由を書こう。

書いて覚えよう

童謡を演奏する

歌うだけでなく、演奏でも楽しめます。

ポイント

- 童謡・唱歌のメロディは、リコーダーや鍵盤楽器でも演奏しやすいものが多いです。
- 簡単なメロディから始めると、楽器の練習にもぴったりです。
- 歌うときとはちがう楽しみ方が、演奏にはあります。

やってみよう

1. リコーダーや鍵盤楽器がある人は、知っている童謡のメロディを1フレーズ弾いてみよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアで練習

いっしょに童謡を歌ってみよう。

A (好きな童謡の題名を) さくらさくら

B (知っていたら) _____

A (いっしょに歌おうと誘う) いっしょに歌ってみない？

B (答える)

ポイント

- 知っている童謡・唱歌を、いっしょに歌う練習です。
- 知らない曲があれば、この機会に教え合ってみましょう。

ワンポイント うまく歌えなくても大丈夫。いっしょに口ずさむだけでも楽しい時間になります。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

歌詞を覚えられない

昔の言葉になじみがない

メロディを忘れる

曲に触れる機会が少ない

やさしく歌えない

力が入りすぎている

コツ

こうしてみよう

意味を調べてから歌う

言葉のイメージをつかむ

音源を何度も聴く

耳でメロディを覚える

語りかけるように歌う

力を抜いて歌う

ポイント

- できないところは、1フレーズずつ区切って練習しましょう。
- 少しずつ覚えた歌が増えていくのを楽しみましょう。

やってみよう

1. あなたが童謡・唱歌でつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

歌の種類

☐ 童謡

子どものために作られた歌

☐ 唱歌

学校教育のために作られた歌

☐ 民謡

地域に伝わる歌

季節の歌

☐ 春の歌

さくらさくら など

☐ 夏の歌

うみ など

☐ 秋の歌

もみじ など

味わい方

☐ 歌詞の情景

頭に思いうかべる景色

☐ 昔のことば

今は使わない言葉

☐ 歌の背景

作られた時代や思い

つなぐ言葉

☐ ふるさとの歌

生まれ育った土地への思い

☐ 世代をこえる

親から子へ歌いつぐこと

☐ 地域の歌

その土地に伝わる歌

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、歌の味わい方も深まります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|---------------------|
| 童謡 | ● | ● ア. 遊びの中で歌われてきた歌 |
| 唱歌 | ● | ● イ. 地域に伝わる歌 |
| 民謡 | ● | ● ウ. 生まれ育った土地への思いの歌 |
| ふるさとの歌 | ● | ● エ. 学校教育のために作られた歌 |
| 遊び歌 | ● | ● オ. 子どものために作られた歌 |

2. 日本の歌の種類を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 学校教育のために作られた歌 → (童謡 / 唱歌)
2. 地域に伝わる歌 → (唱歌 / 民謡)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

季節に合う童謡を1曲口ずさむ

歌詞の意味を頭の中で考える

やさしい声で1曲歌う

知らない童謡を1曲聴いてみる

今日歌った歌をノートに書く

家族と童謡を歌う時間をつくる

- 1回5分でも、毎日続けることが歌の宝ものを増やす力になります。

発表してみよう・感想を書こう

覚えた童謡を、人に聴いてもらおう。

発表した日

歌った童謡・唱歌

意識したこと

聴いてくれた人の
感想

Ken の例

発表した日 7月18日／童謡・唱歌 故郷（ふるさと）／意識したこと やさしい声で歌うこと／感想
なつかしい気持ちになったと言われた

感想を3文で書こう

① 童謡・唱歌を学ぶ前は、～でした。② 今は、～ができるようになりました。③ これからは、～
を大切にしたいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

日本の歌の世界は、これからも広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

童謡・唱歌の本や楽譜を借りる

家族に

子どものころ歌った歌を聞く

動画で

いろいろな演奏や合唱を見る

次のステップ

英語の歌

ちがう言葉の歌に挑戦する

1曲を通す

最初から最後まで歌いきる

演奏する

楽器で童謡を演奏する

ポイント

- この教材の次は「英語の歌を歌う」。歌いつぐ楽しさを、ちがう言葉の歌にも広げます。

書いて覚えよう

童謡・唱歌を歌うチャレンジ

毎日の中でも、日本の歌はすぐに楽しめます。

聞こう

家族にむかし歌った歌を聞く

歌おう

やさしい声で1曲歌う

伝えよう

覚えた歌をだれかに教える

こたえ

L26 童謡→オ 唱歌→エ 民謡→イ ふるさとの歌→ウ 遊び歌→ア
2. 童謡 / 唱歌 / 民謡 3. 唱歌 / 民謡

L33 (例) 童謡・唱歌は、長く歌いつがれてきた日本の歌の宝もの。

書いて覚えよう

童謡・唱歌を歌う (Season 3 | No.28)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。